

木馬



発行
2021年2月26日
No.106
都立成瀬高校
図書委員会

電子書籍に関するアンケート・・・1 図書委員のおすすめ本・・・・・・・4
集計結果からの考察・・・・・・・2 四コマ漫画「今日の本田くん」・・・・・・・4

皆さんこんにちは！ 本誌を手にとって頂き、ありがとうございます。コロナ禍での分散登校など、不安も残りますが、自宅学習の休憩や暇な時間のお供にどうぞ。

さて、今回の「木馬」はClassiで行ったアンケートのまとめを載せています。ご協力ありがとうございました。ぜひ最後まで読んでくださいね。

(図書委員長・2年S・M)

電子書籍に関するアンケート

アンケートの概要

対象：一年、二年の生徒
方法：Classiにてアンケートを配布し、回収

アンケートの結果

Q1 あなたは電子書籍で読書(漫画を含む)をしたことがありますか？
「はい」100人(17.8%)
「いいえ」33人(5.9%)
「未回答」428人(76.3%)

回答してくださったほとんどの人が電子書籍を利用したことがあるということが分かります。

Q2 あなたは電子書籍を利用する目的のアカウントを持っていますか？

「一つだけ持っている」32人(5.7%)
「複数持っている」20人(3.7%)
「持っていない」81人(14.4%)
「未回答」428人(76.3%)

Q1で使ったことのあると答えた人の数に対してアカウントを一つ以上所持している人は少ないことが分かります。

Q3 電子書籍を利用してよく読むジャンルは何ですか？

「漫画雑誌」36人(6.1%)
「漫画単行本」62人(10.5%)
「参考書など学習に関わる書籍」3人(0.5%)
「フィクション(小説)、ノンフィクションをはじめとした一般書籍」33人(5.6%)
「その他」10人(1.7%)
「未回答」449人(75.7%)

漫画、特に漫画単行本を電子書籍で読む人が多く、逆に参考書などを利用する人は極端に少ないことが分かります。

Q4 あなたは電子書籍で本(漫画を含む)をどれくらい読みますか？

「ほぼ毎日読んでいる」29人(5.2%)
「週に2～3日読んでいる」17人(3.0%)
「週1日読んでいるかどうか」17人(3.0%)
「ほとんど読まない」60人(10.7%)
「未回答」438人(78.1%)

Q2でアカウントの所持者が少ないことからわかるように、普段から電子書籍を利用する人は少ないようです。

Q5 電子書籍を利用する以前と利用し始めた後で、読書量は増えたと思いますか？

「はい 増えました」27人(4.8%)
「いいえ 減りました」3人(0.5%)
「ほとんど変わりません」84人(15.0%)
「未回答」447人(79.7%)

手軽に読書ができることから読書量が増えた、または変わらないという人がほとんどでした。

Q6 「電子書籍を利用している」ということを理由として、以前と比べて書店への来店機会(行く回数、または行きたいという気持ち)に変化があったと感じますか？

「来店機会は増えた」2人(2.0%)
「来店機会に変化はない」11人(12.7%)
「来店機会は減った」6人(1.1%)
「電子書籍を利用していない(のでの問いには答えられない)」36人(6.4%)
「未回答」437人(77.9%)

意外にも電子書籍の導入は、書店への来店機会には影響が少ないということが分かりました。

Q7 「電子書籍」にまつわる思い出や話題があれば教えて下さい。

- 某漫画アプリの「待てば0円」で読み込みされず一週間待たされたこと。
- たくさん作品に出会えるのでたくさん好きな作品が出てきて毎日読むのが楽しみになる。
- ページがめくれなくなって悲しくなった。
- バキを読んでいるおかげで友達が増えました。
- Kindle 読み放題最高

●家族に画面を見せながら勧めた時に、自分が読んでいる途中の画面が出てきて、ネタバレになってしまった事がある。

●電子書籍は紙の本に比べて頭に残りにくい気がします。

●とある本を読みたいとクリックしたら、見事にワンクリック詐欺のページへ飛んだ。怖かった。

●電子書籍はすぐ読める。原本は手元に保管しておけるからプレミア感出るよね。

●データが消えないか不安。

●つい最近利用し始めた。クーポンなどが使えて思っていたより便利。

(副委員長・1年 N・Y)

集計結果からの考察①

今回のアンケート結果では、回答者のうち、Q1で「電子書籍を利用したことのある」人が3/4を占めていたのですが、Q4使用頻度を問う質問では「ほとんど読まない」が47.5%(57人)、そして読書量を問うQ5でも「ほとんど変わらない」が73%(81人)だったことから、「一度は電子書籍を利用したことがある」場合も、電子書籍の利用を習慣化している人は少ないのではな

いかと感じました。



その理由として、電子書籍はスマートフォンやタブレット端末で読むことになるので、ブルーライト等による目の疲れや、本の現物のように厚みがないことから、自分がどこまで読んでいて、あとどれくらいあるのか確認できず読む気が失せる、などが挙げられます。

また「ワンクリック詐欺」の被害、アプリの不具合などから電子書籍への抵抗感もあるようでした。

以上の理由から、電子書籍が広く浸透するのにはもう少し時間がかかるように感じました。

電子書籍に好意的なコメントでは、「手元にある特別感」を挙げた人がいました。

(書記・2年 F・M)

集計結果からの考察②

・電子書籍のメリットについて

まず、電子書籍を利用することによって、たくさん作品に出会うことができる点です。

おすすめ本やジャンルごとのランキングを公開している漫画アプリなど、いち早く人気のものを読め、自分好みの一冊に出会う機会が増えます。

また、発売後すぐに更新されたり、無料で読めたりすることがあり、買いに行く手間が省けます。学生のお財布事情にもやさしいですね(笑)。

スマートフォンなどで読めるので、とても気軽に読み始められます。普段本を読まない人でもとつきやすいのではないのでしょうか。



・電子書籍のデメリットについて

基本的にはスマートフォンやタブレットを使うので、どうしても目が疲れてしまいます。小説などの活字の多いものは特に疲れやすいし、目にも良くないでしょう。

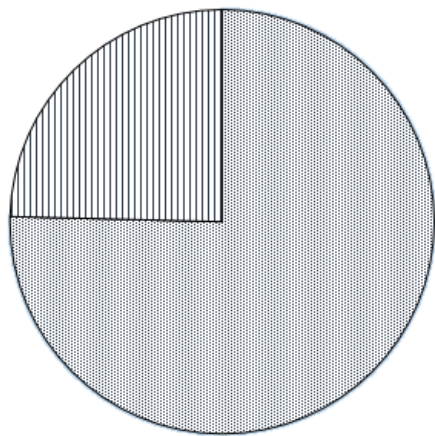
本のように厚みがなく、あとどのくらいあるのか目で確認できず、読んでいる途中で挫折してしまうかもしれない。また、手元に残るものではないので、誰かに貸しておすすめる、といったことができません。漫画だったりと、見開きで描かれたページが半分で切れてしまい、話のつながりや、迫力が失われてしまいます。

また、今回のアンケートの結果から、回答者の中では使ったことのある人が大多数でしたが、アカウントを持つている人・高い頻度で利用している人は3割ほどで、電子書籍はあまり身近でないように感じました。しかし、「電子書籍を利用して漫画単行本を読む」という人が半数近くいたので「漫画は電子書籍を、小説は本を利用して読む」といいのではないかと思います。短編小説だと、本で買おうとすると読みたい作品以外の作品もセットになっていることが多いので、そういう場合は電子書籍を利用してみてはいかがでしょうか。自分に合ったスタイルを探してみてください！

これを機に電子書籍を使ったことのない人はぜひ使ってみてください。

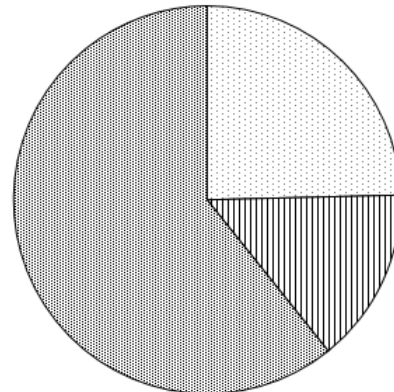
(委員長・2年 S・M)

設問1 「あなたは、電子書籍で読書（漫画を含む）をしたことがありますか？」



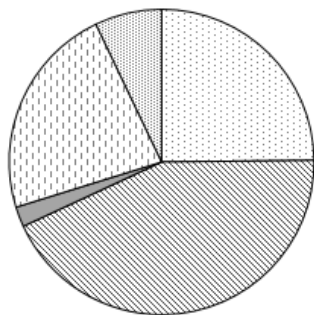
□ はい (98名) □ いいえ (32名)

設問2 「あなたは、電子書籍を利用する目的のアカウントをお持ちですか？」



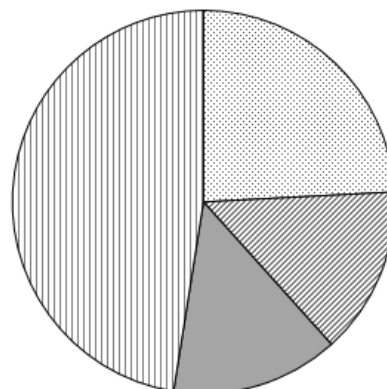
□ ひとつだけ持っている (32人) □ 複数持っている (19人) □ もっていない (79人)

設問3 「電子書籍を利用してよく読むジャンルは何ですか？」



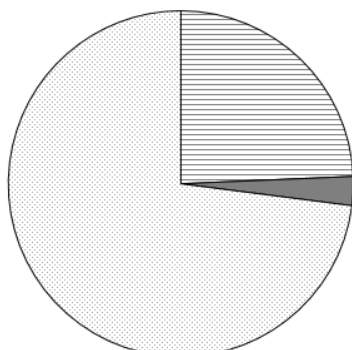
□ 漫画雑誌 (35人)
 □ 漫画単行本 (61人)
 □ 参考書など学習にかかわる書籍 (3人)
 □ フィクション（小説）・ノンフィクションをはじめとした一般書籍 (32人)
 □ その他 (10人)

設問4 「あなたは、電子書籍で本（漫画を含む）をどれくらい読みますか？」



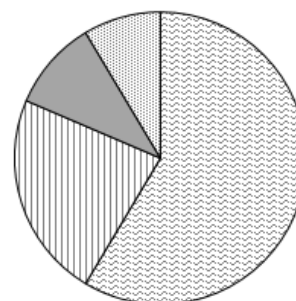
□ ほぼ毎日読んでいる (29人) □ 週に2～3日読んでいる (17人)
 □ 週1日読んでいるかどうか (17人) □ ほとんど読まない (57人)

設問5 「電子書籍を利用する以前と、利用し始めた後で、読書量は増えたと思いますか？」



□ はい、増えました (27人) □ いいえ、減りました (3人) □ ほとんど変わりません (81人)

設問6 「『電子書籍を利用している』ということを理由として、以前と比べて書店への来店機会（行く回数。または、行きたいという気持ち）に変化があったと感じますか？」



□ 来店機会は、増えた (11人)
 □ 来店機会に、変化はない (70人)
 □ 来店機会は、減った (6人)
 □ 電子書籍を利用していない（ので、この問いには答えられない） (34人)

図書委員のおすすめ本

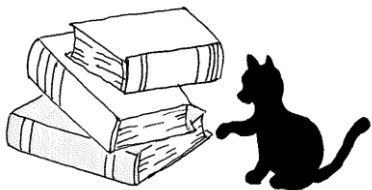
『火星の人』 アンディ・ウィアー 著、
小野田 和子 訳（早川書房）

ポイントです。また、この本は地球のNASA視点と火星のワトニー視点に分かれており、地球側では救助のために徹夜で会議が開かれているのに火星側ではワトニーがのんびりドラマを見ていたり、地球と火星の温度差もまた、魅力です。
（1年5組 K・H）

「あらずじ」「アレス3ミッション」の一員として火星に降り立った宇宙飛行士のマーク・ワトニーは、不慮の事故により一人火星に取り残されてしまう。

地球との連絡が絶たれ、食料が限られるなか、ワトニーは植物学者と、メカニカルエンジニアとしての知識を総動員し、火星からの脱出を目指す。

「おすすめポイント」主人公のマーク・ワトニーは陽気で明るい性格で、火星にたった一人取り残されたという絶望的状况にもかかわらず、悲壮感がまったくなく、危険な状態に陥っても冗談を言ったりと、主人公が非常に魅力的な人物であることがこの本のおすすめ



『和菓子のアン』 坂木 司 著（光文社）

デパ地下の和菓子店でアルバイトすることになった梅本杏子（アンちゃん）は、個性的な仲間と囲まれながら、和菓子の奥深さを学びます。和菓子に込められた意味から人の心を知り、成長していく物語です。

「ころろ温まる小説で、この本を読み終わると「ちよつと高い和菓子屋さん」に行きたくなります。短編集みたくなっており、自分みたいになンガや雑誌を多く読む人でも読みやすいです！和菓子の世界はとても広く大きい！そんな和菓子の魅力がたっぷり詰まった小説です。
（2年3組 M・Y）

『ここに死体を捨てないでください！』 東川 篤哉 著（光文社）

「死んじゃった・・・あたしが殺したの・・・」有坂香織は、妹の部屋で見知らぬ女性の死体に遭遇する。動揺のあまり逃亡してしまった妹から連絡があったのだ。彼女のかわりに、事件を隠蔽しようとする香織だが、死体があるってはどうにもならない。どこかに捨てなきゃ。誰にも知られないようにこつそりと・・・

この本は、『謎解きはディナーのあとで』の著者でもある東川篤哉さんの作品です。『ここに死体を捨てないでください！』という題名はインパクトたっ

ぷりで、怖い作品だと思う方もいるかもしれませんが、でも、そんな人でも安心して読めるギャグたっぷりのミステリーになっていきます。推理小説は難しくて苦手だという人も、次のページをめくるのが楽しくなるような、笑いながら読むことができる作品になっています。この作品は鳥賊川市シリーズの第5弾となっているので、興味のある人はシリーズ内の他の作品も読んでみてください！！
（2年5組 T・K）



編集後記

コロナ禍により発行が遅れたことをお詫びします。今号に掲載予定だった「作家訪問」の記録は、インタビュが3月に延期となったため、3月発行「木馬」107号でお届けする予定です。どうぞお楽しみに。（池）

（アンケート分析指導 鈴木薫 司書
教諭 イラスト 1年・O・M／2年・
T・K）



今日の本

No. 9

原案・38期

1・H

／ 絵・2年

T・K